

第四次長野市地域福祉計画の策定について

令和3年9月1日
長野市 保健福祉部 福祉政策課

I これまでの経過①

開催日	会議等名称	主な内容
令和2年 6月2日	令和2年度第1回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	第四次長野市地域福祉計画策定スケジュール
9月24日	第5回長野市地域福祉推進会議	第三次長野市地域福祉計画に係るアンケート結果報告
10月29日	第6回長野市地域福祉推進会議	第三次長野市地域福祉計画の中間評価報告書(案)
11月9日	長野市地域福祉庁内推進会議	第三次長野市地域福祉計画の中間評価報告書(案)
11月13日	令和2年度第2回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	第三次長野市地域福祉計画の中間評価について
12月18日	令和2年度第3回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	第三次長野市地域福祉計画の中間評価 について

I これまでの経過②

開催日	会議等名称	主な内容
令和3年 2月15日	第30回長野市住民自治連絡協議会 理事会	第四次長野市地域福祉計画策定市民企画作業部会への 住民自治協議会役員の参加について(依頼)
2月24日	部長会議	第四次長野市地域福祉計画 策定方針
5月24日	第1回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	第三次長野市地域福祉計画の中間評価 第四次長野市地域福祉計画策定方針
7月1日	第2回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	講演「地域福祉計画の策定にあたって」 (講師:淑徳大学学長 山口光治 教授) ワークショップ「身近な地域生活課題について」
7月27日	第3回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	ワークショップ「担い手について」
9月1日	令和3年度第1回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	第四次長野市地域福祉計画 策定方針 第四次長野市地域福祉計画策定市民企画作業部会の開催状況等

Ⅱ 第三次長野市地域福祉計画の中間評価①

基本目標1 地域福祉を推進するための基盤をつくる

【重点施策の主な取組状況】

○住民自治協議会

- ・関係機関・事業所等との連携による各種講座、研修、交流会、防災訓練等の開催

○小中学校

- ・地域の高齢者との交流や福祉施設等でのボランティア体験等の実施

○市社会福祉協議会

- ・福祉共育(福祉教育)・ボランティア学習普及校の指定、助成、講師派遣、企画・運営支援、地域福祉推進セミナーの開催

○市

- ・地域福祉推進セミナーの開催に協力

Ⅱ 第三次長野市地域福祉計画の中間評価②(訂正済)

基本目標1 地域福祉を推進するための基盤をつくる

【推進上の課題】

- 福祉・保健に関する取組に対する住民自治協議会の負担感が大きい。
- 地域福祉ワーカー(生活支援コーディネーター)の役割や位置付けが不明確
- 地域福祉ワーカー(生活支援コーディネーター)の負担が大きい
- 地区役員を含め地域福祉活動に担い手の確保に苦慮している

Ⅱ 第三次長野市地域福祉計画の中間評価③

基本目標2 一人ひとりの思いをつなげ、様々な担い手が連携できる仕組みをつくる

【重点施策の主な取組状況】

○住民自治協議会

- ・生活支援体制整備検討会、地域福祉懇談会、関係者によるネットワーク会議等の開催・参加

○市社会福祉協議会

- ・地区担当制による住民自治協議会への支援
- ・コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の役割を担う職員の配置

○市

- ・長野市地域福祉庁内推進会議の開催

Ⅱ 第三次長野市地域福祉計画の中間評価④

基本目標2 一人ひとりの思いをつなげ、様々な担い手が連携できる仕組みをつくる

【推進上の課題】

- 地域により、活動内容や推進体制に差がある。
- 地域福祉ワーカー(生活支援コーディネーター)に対する市や市社会福祉協議による支援が不十分
- 保健福祉ブロック等のエリアを活用した、地区を越えた連携・協働体制の構築
- 地域共生社会を見据えた市の関係各課の連携による支援体制の整備

Ⅱ 第三次長野市地域福祉計画の中間評価⑤

基本目標3 一人ひとりの思いを受け止め、福祉サービスや支え合い活動を充実する

【重点施策の主な取組状況】

○住民自治協議会

- ・地区ごとのサロン活動、通いの場の創出
- ・災害時避難行動要支援者の支援
- ・要援護者等の見守り、声かけ、訪問等

○市社会福祉協議会

- ・サロン事業等交流活動の支援
- ・市との協働による孤立防止・見守りネットワーク事業の実施
- ・福祉推進員研修の実施

○市

- ・友愛活動にかかる経費補助
- ・訪問活動等を行う事業所による高齢者等の見守りに関する協定の締結

基本目標3 一人ひとりの思いを受け止め、福祉サービスや支え合い活動を充実する

【推進上の課題】

- 支援が必要な人に地域とのつながりがないため、孤立しがち、気づきにくい
- コロナ禍における住民参加の場や機会の確保
- 受けた相談をつなぐ先の明確化
- 地域たすけあい事業における支援ニーズと合わないことがある。
- 地域たすけあい事業の協力会員の確保
- 成年後見制度の利用促進
- 再犯防止のための取組

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針①

1 趣旨

平成28年度に策定した第三次長野市地域福祉計画(以下「第三次計画」という。)の計画期間が、令和3年度に終了する。平成30年4月に施行された改正社会福祉法の趣旨を踏まえ、様々な生活課題を抱える地域住民を地域全体で支える「**地域共生社会**」の実現を目指して、行政、福祉関係者、地域団体、民間事業者等が協働して地域福祉活動に取り組むため、令和4年度を初年度とする第四次長野市地域福祉計画(以下「第四次計画」という。)の策定方針を次のように定める。

2 背景①

(1) 地域共生社会の実現

平成29年2月、国は、「地域共生社会」の実現を目指した改革を進めていく方針を掲げ、社会福祉法を改正した。

具体的には、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者など、対象者ごとの縦割りから脱却し、分野・制度を超えた横断的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業の推進*1 並びに地域住民や地域の多様な主体が「受け手」だけでなく、「支え手」となり、我が事として自立や支え合いを推進する機運の醸成等を求めている。

*1 重層的支援体制整備事業：断らない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針③

2 背景②

(2) 地域生活課題の複雑化・複合化

少子高齢化の進行、単身高齢世帯・高齢者のみ世帯及び共働き世帯の増加等により、介護や見守り、子育ての支援がこれまで以上に必要となる一方、核家族化、ひとり親世帯の増加、近所付き合いの希薄化などにより、家庭及び地域の支援力が低下している。

また、8050問題*₂、ダブルケア*₃など個人や世帯単位で複数分野の課題を抱えるなど、分野別に組み立てられた縦割りの既存制度では、対応が難しいケースも顕在化してきている。

なお、第三次計画においても、こうした背景を踏まえ、地域福祉を推進するための各主体の役割を明らかにすると共に、様々な取組を進めてきたところであるが、課題は更に深刻化している。

*2 8050問題: 高齢化した親が引きこもりの中高年の子を支える家庭で、生活困窮と介護が同時に生じる問題

*3 ダブルケア: 晩婚化・晩産化等を背景に、育児期にある者(世帯)が、親の介護も同時に担う問題

2 背景③

(3) 新たな社会的課題への対応(With／Afterコロナ)

新型コロナウイルス感染症拡大への対応により、新しい生活様式の実践が求められ、また、日常生活、社会システムが大きく変容した。外出自粛に起因するストレス等による家庭問題の増加や生活リズムの崩壊、地域活動やイベント等の開催制限、在宅勤務(テレワーク)やWEB会議の拡大などによる人と人とのつながりの更なる希薄化・孤立の深まりなどが懸念される中、「社会的なつながり」を保つ方策の検討などが必要となっている。

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑤

2 背景④

(4) 地域で取り組む災害対応力の向上

令和元年東日本台風災害により、地域コミュニティと地域の支え合いの重要性が再確認された。配慮を要する方への実効性のある避難行動支援の仕組みづくりなどが求められている。

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑥

3 第三次計画の中間評価における主な課題

- (1) 福祉・保健に関する取組への地域団体等の負担感が大きい。
- (2) 地域福祉ワーカー(生活支援コーディネーター)の役割や位置付けが不明確である。
- (3) 地区役員を含め、地域福祉活動の担い手の確保に大変苦慮している。
- (4) 地域によって地域福祉活動の内容や推進体制に温度差がある。
- (5) 地域福祉ワーカーに対する市や市社協による支援が不十分である。
- (6) 支援が必要な人と地域とのつながりが希薄なため、孤立しがち、気付きにくい。
- (7) 住民から受けた相談内容について、適切につなぐ施設等が分からないことがある。
- (8) コロナ禍における住民参加の場や機会の確保が必要である。など

4 第四次計画の位置付け

(1) 計画の位置付け

第五次長野市総合計画を上位計画とし、社会福祉法第 107条の規定に基づく市町村地域福祉計画として位置付ける。(市町村は努力義務)

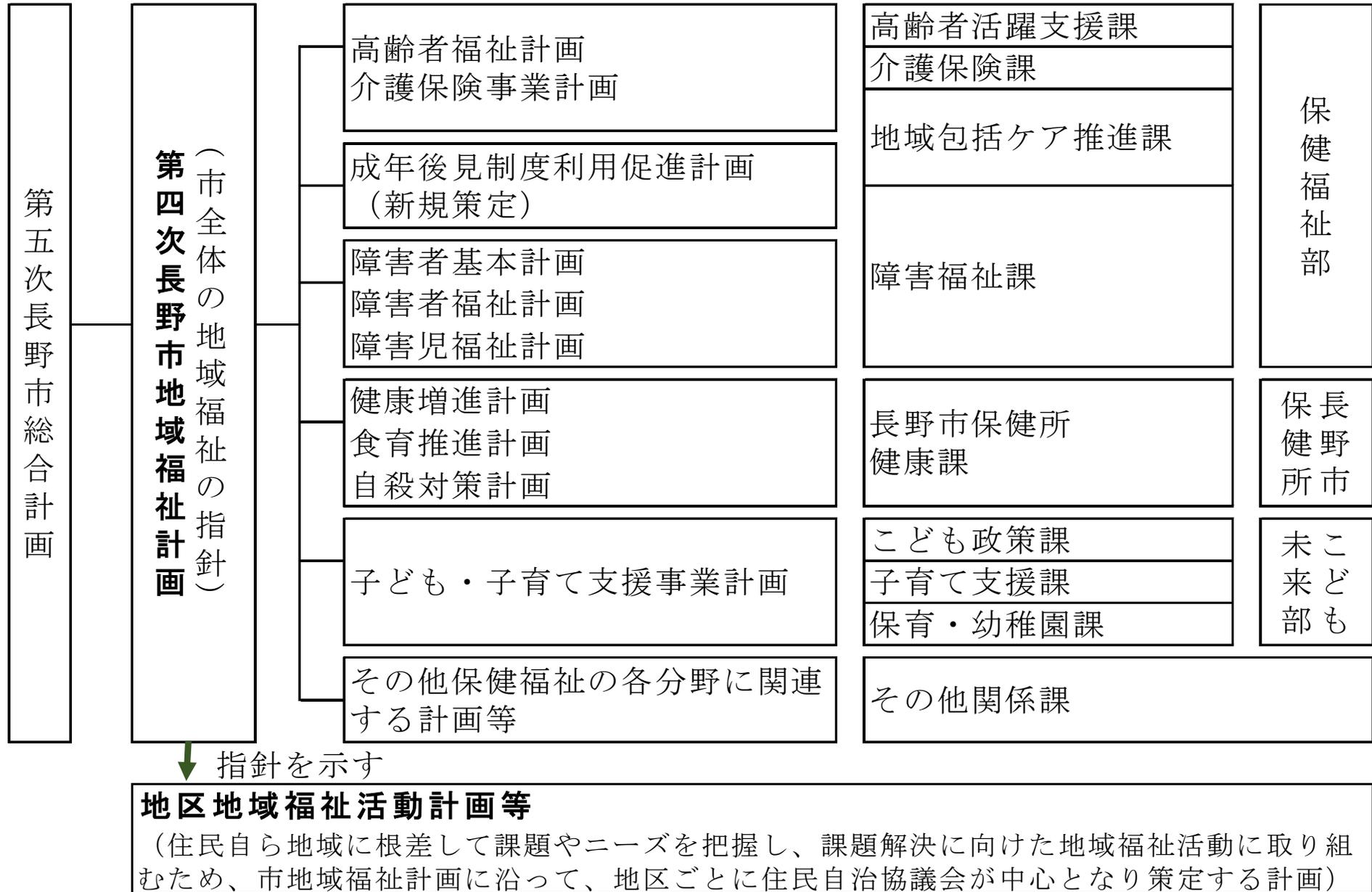
(2) 計画の性格

本市における高齢者、障害者、子ども、生活困窮者など様々な保健福祉分野等の計画や施策に関し、共通的な事項を定めるとともに、分野別の個別計画に基づく福祉サービスだけでは十分に対応できない地域の課題について、行政と地域住民、関係機関等がその解決に向けて協働して取り組む地域福祉活動の方向性を示すもの

(3) 計画期間

令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)5年間

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑧



Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑨

【補足】

※住民自治協議会との協働に当たっては、長野市都市内分権基本方針(新規策定)との整合を図る。

※成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年法律第29号)第14条第1項の規定に基づく、成年後見制度利用促進計画(新規策定)等を第四次計画と一体的に策定する。

※市社協は、長野市社会福祉協議会総合計画(本市の地域福祉計画と今後の進むべき方向性を共有し、市社協が主体となり取り組む施策を具体化する計画)に基づき、地域福祉活動を推進する。

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑩

5 第四次計画に盛り込むべき基本的事項①

(1) 地域共生社会の実現に向けて、方向性を示す施策

ア 多様な主体の連携・協働の推進

(ア) 包括的な支援に向けた多様な主体とのネットワークの整備

(イ) 連携による支援の強化・充実

(ウ) 協働で取り組む災害対応力の向上

イ 持続可能な地域支え合いの体制づくり

(ア) 地域福祉の推進体制の再検討

(イ) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる仕組みづくり

(ウ) 地域住民、住民自治協議会、市、市社協等の適切な役割分担の検討

Ⅲ 第四次長野市地域福祉計画 策定方針⑪

5 第四次計画に盛り込むべき基本的事項②

ウ 地域力を高めるための人材の確保と育成

(ア) 地域支え合い活動推進の核となる人材の確保

(イ) 地域福祉活動の新たな担い手の確保に向けた意識の醸成

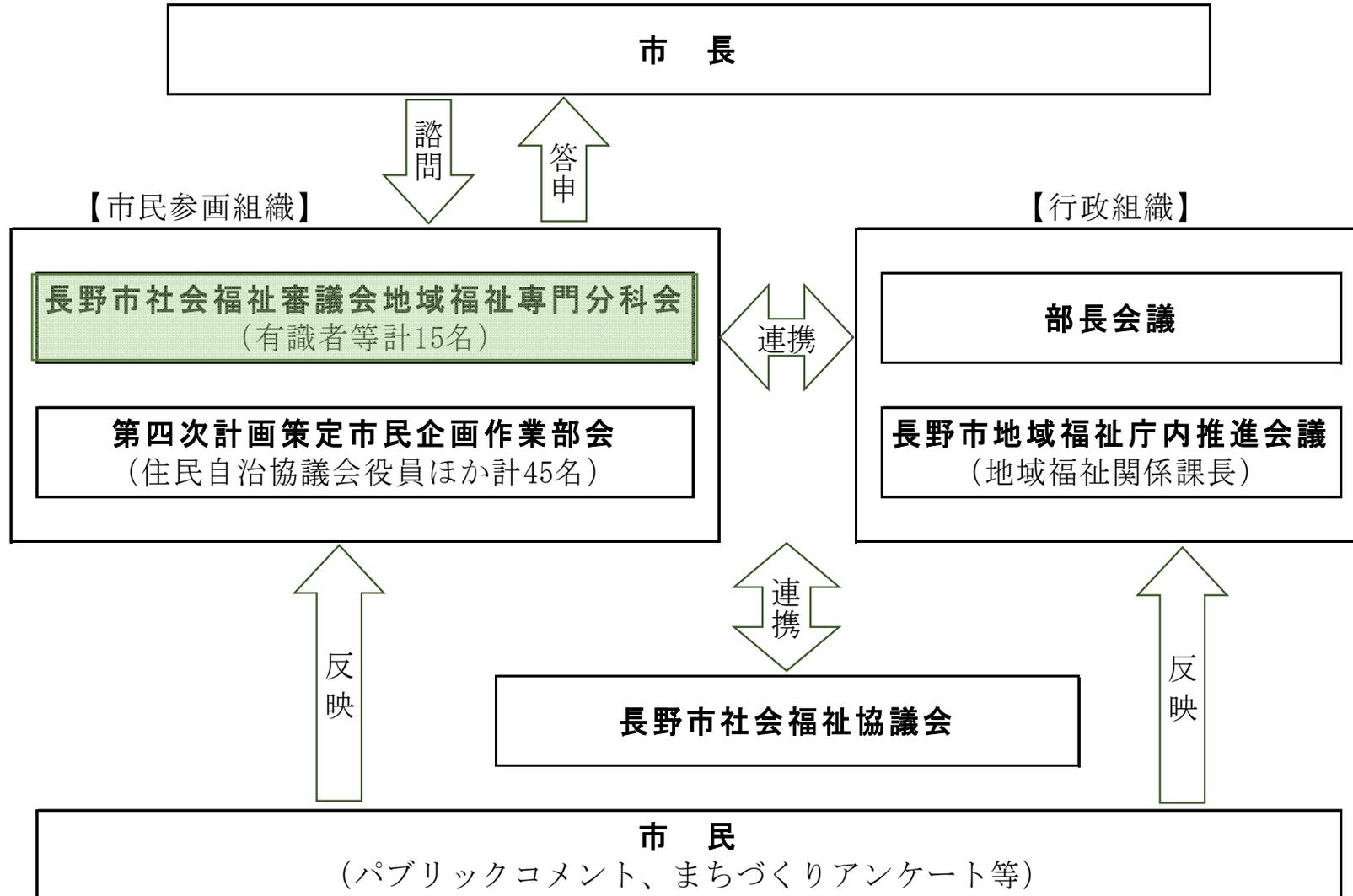
(2) (1)の取組を基盤とした個別施策の展開

成年後見制度利用促進や再犯防止の推進、重層的支援体制の整備など、地域福祉に関係する施策

(3) 新たな社会的な課題への対応(With／Afterコロナ)

(4) 地域福祉活動の成果を示す評価指標、SDGsにおける関連項目等

6 策定体制(イメージ)



7 策定スケジュール(経過含む 令和3年2月現在)

時 期	内 容
令和2年6月	長野市社会福祉審議会（第四次計画策定 諮問）
9月～ 12月	長野市地域福祉推進会議 長野市地域福祉庁内推進会議 長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 } (第三次計画 中間評価)
令和3年2月	住民自治連絡評議会理事会（計画策定市民企画作業部会への参加依頼） 部長会議（第四次計画策定方針決定）
4月～ 10月	第四次計画策定市民企画作業部会 長野市地域福祉庁内推進会議 長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
11月	部長会議（計画素案決定、パブリックコメントの実施）、市議会政策説明会
12月	パブリックコメント（約1か月間）
令和4年2月	長野市社会福祉審議会（答申） 部長会議（パブリックコメント結果報告、計画決定）、市議会政策説明会
4月	第四次計画スタート

IV 第四次長野市地域福祉計画策定市民企画作業部会の状況①

作業部会員

1	住民自治協議会	第一地区	西澤 利治	健康福祉部会長	23	住民自治協議会	川中島地区	近藤 春雄	社会福祉部会長
2		第二地区	市川 勲	福祉健康部会長	24		更北地区	小山 安正	住民自治協議会副会長
3		第三地区	浅倉 信	事務局長	25		七二会地区	酒井 厚子	健康福祉推進員会長
4		第四地区	小林 昌樹	健康福祉部会長	26		信更地区	塚田 今朝幸	福祉健康部会部会長
5		第五地区	戸谷 裕治	事務局長	27		豊野地区	武田 正司	福祉健康部会部会長
6		芹田地区	青木 敏	地区社会福祉協議会会長	28		戸隠地区	武内 一夫	健康福祉委員会委員長
7		古牧地区	金永 富雄	福祉部会長	29		鬼無里地区	佐藤 美香	社会福祉部長
8		三輪地区	奥山 希代子	健康・福祉部会長	30		大岡地区	的場 明子	協議体 委員長
9		吉田地区	清宮 利花	広町区 区長	31		信州新町地区	塚田 悦啓	事務局長
10		古里地区	大澤 好明	福祉・健康部長	32		中条地区	久保田 直光	健康福祉部会長
11		柳原地区	新井 栄子	事務局長	33		NPO	新井 厚美	NPO法人ワークーズコープかがやき 代表理事
12		浅川地区	小山 隆	住民自治協議会副会長	34		社会福祉法人	児島 昭	社福) ヒューマンヘリテージ 理事長
13		大豆島地区	保谷 利信	福祉健康部会長	35	介護サービス事業者	小林 俊之	(株) ながの地域福祉サービス 代表取締役	
14		朝陽地区	古川 晴雄	社会福祉部会長	36	介護保険施設	涌井 淳夫	社福) 若槻ホーム 常務理事	
15		若槻地区	横山 博道	福祉健康部長	37	地域包括支援センター	村本 利廣	社福) 善光寺大本願福祉会 地域包括支援センターケアプラザ若穂 所長	
16		長沼地区	米沢 啓史	福祉健康部会部会長	38	障害ふくしネット	小島 健一	社福) 長野県社会福祉事業団 障害者支援施設 水内荘 所長	
17		安茂里地区	青沼 経夫	健康福祉部会長	39	障害ふくしネット	二木 里美	長野市南部障害者支援センター 専門員	
18		小田切地区	池田 三重子	福祉・健康部会長	40	生活困窮者支援	土屋 ゆかり	市社協 地域福祉課 (長野市生活就労支援センター 所長)	
19		芋井地区	丸山 香里	福祉部会長	41	災害対応	小野 貴規	市社協 地域福祉課 (長野市生活支援・地域ささえあいセンター)	
20		篠ノ井地区	田中 美枝子	福祉部会長	42	児童福祉関係者	吉瀬 陽	社福) 湖会 児童養護施設 松代福祉寮 心理士	
21		松代地区	傳田 伸剛	福祉健康部会長	43	教育関係者	千野 和江	市教育センター 指導主事	
22		若穂地区	義家 富江	住民自治協議会副会長					

第1回作業部会(令和3年5月24日)



第三次長野市地域福祉計画の中間
評価 及び 第四次長野市地域福祉
計画策定方針 の説明

第2回作業部会(令和3年7月1日)①

演題
「地域福祉計画の策定にあたって」

講師
淑徳大学学長 山口光治 教授



第2回作業部会(令和3年7月1日)②



6グループに分かれてのワークショップ

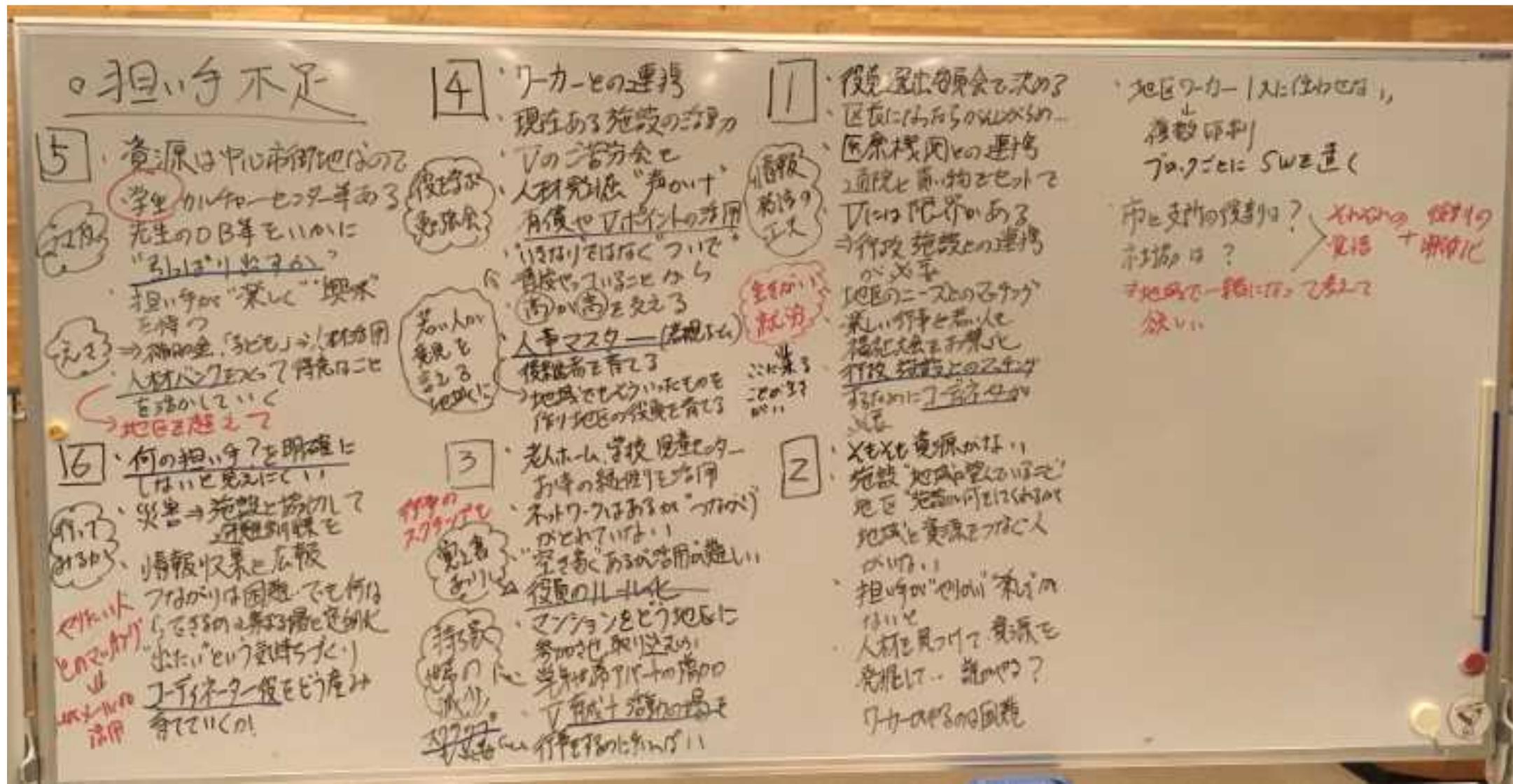
第3回作業部会(令和3年7月27日)①



- 「**担い手**」について、
- ①資源の活用事例・地区で工夫していること
 - ②資源の活用にあたっての課題や必要な支援
 - ③人材発掘・養成の取組や工夫していること
 - ④人材発掘・養成のための課題や必要な支援 について

第2回作業部会と同じ6グループに分かれてのワークショップ

第3回作業部会(令和3年7月27日)②



V 今後の予定(令和3年9月1日現在)

日時	場所	会議等名称
令和3年 9月6日(月)14:00~16:00	講堂 市役所 第二庁舎10階	第4回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会
9月24日(金)10:00~正午	講堂 市役所 第二庁舎10階	令和3年度第2回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
10月1日(金)14:00~16:00	ホール 長野市ふれあい福祉センター5階	第4回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会
10月27日(水)14:00~16:00	ホール 長野市ふれあい福祉センター5階	第4回第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会
11月12日(金)10:00~正午	会議室2・3 長野市ふれあい福祉センター4階	令和3年度第3回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
12月		パブリックコメント
令和4年 2月8日(火)予定	未定	令和3年度第4回長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
同日	講堂(予定)	令和3年度第3回長野市社会福祉審議会
2月		部長会議、市議会政策説明会 等
4月		第四次計画スタート